

事業番号	291
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	土地区画整理事業関連整備事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	区画整理課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		21 市街地整備		2 良好な住宅地を創出します									
		副目的	21-1													
	予算区分	款	8		項	4		目	6		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	土地区画整理法、尾張都市計画事業(小牧小松寺・小牧文津・小牧岩崎山前・小牧南)土地区画整理事業計画														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	各地区の土地区画整理事業に関連する工事等を行い、事業を円滑に推進し、事業効果を高める。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 各地区の土地区画整理事業の進捗に合わせて、必要な関連整備事業を行う。 平成25年度の土地区画整理事業関連整備事業は、下記のとおりである。</p> <p>・小牧南地区の区画道6-104号関連工事及び8号調整池関連工事に係る監理監督業務及び1件の建物移転に伴う補償交渉。</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 工事請負費(35,900千円) 物件移転補償費(29,449千円) 委託料等(5,731千円)</p> <p>◆平成26年度直接経費の内訳 工事請負費(10,000千円) 委託料等(14,992千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	52,870	66,970	71,080	24,992	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	55,500	69,600	73,710	27,622
	対前年比		%		125.4	105.9	37.4	
財源	一般財源	千円	45,900	69,600	63,010	27,622		
	国・県支出金	千円	4,200	0	9,800	0		
	その他財源	千円	5,400	0	900	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	区画道6-104号関連 道水路工事	m	目標	—	160	—
実績				—	0	0	
区画道6-104号関連 物件移転補償		件	目標	—	2	—	—
			実績	—	2	1	
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
区画道6-104号関連 道水路工事	m	目標	—	160	100	100	
		実績	—	0	0		
区画道6-104号関連 物件移転補償	件	目標	—	2	1	—	
		実績	—	2	1		

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	平成25年度の小牧南地区の8号調整池築造及び関連工事である区画道6-104号については、移転補償交渉の難航等により工事が平成26年度に繰越となった。(移転補償については、平成25年度末に完了。)		
	事業実施における課題	駅周辺の良好な住環境整備を促進すべき市街地でありながら、緊急車両が進入できないような狭隘道路の問題が長期間継続することは、都市の防災性の向上や安心快適な市街地形成の観点で、地元住民に不利益を与える可能性がある。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	道路、公園等の公共施設と宅地整備を総合的に行う区画整理事業が事業途中で廃止・休止となった場合、これまでに土地利用を制限してきたことや、その他不利益を地区内権利者に与えることになるため損害賠償が想定される。また、都市計画法、土地区画整理法に基づいて決定された、都市計画決定、仮換地指定、事業計画等の取消は、現実的に困難である。よって、事業の早期完了を目指し、安全安心なまちづくりのため土地区画整理事業を継続的に進めていく必要がある。		
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	今年度については、早期に工事着手し、年度内完了を目指す。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
判定理由		毎年の目標を達成できるよう積極的な補償交渉を推進し、道路や排水路等の公共施設整備を進めていく必要がある。		
27年度以降の改善案		各地区の土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、事業効果を高めるため地区内外に接続する道路や排水路等の関連工事を適切に実施していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。